

「月刊！スポ協ナビ」 6月26日（木）

～豊橋自転車競技協会の方に『自転車』の魅力について伺いました～

出演 豊橋自転車競技協会会長 西郷敦司

理事 高橋正子

豊橋市スポーツ協会 金田英樹

FM とよはし いいだまき



（いいだ）

はい、始めました、月刊！スポ協ナビ、毎月第4週目のこの時間にお届けしております。10月10日体育の日だった時代を経て、毎年10月の第二月曜

日に変わり、そして、名前も体育の日からスポーツの日に。それに伴って、2020年、豊橋市体育協会も豊橋市スポーツ協会となりました。今豊橋で、どんなスポーツの大会が開催されているのか、どんなスポーツが熱いのか、そんな話題を通して、スポーツの魅力をお伝えして行くコーナーです。さあ、今日も豊橋市スポーツ協会から金田さんにお越しいただいております。金田さんよろしくお願いします。

（金田）

よろしくお願いします。

（いいだ）

やっと梅雨らしい季節になってきたのか、よくわかりませんが。

（金田）

先週からものすごい暑さになってますね。本当に熱中症になる方が何人も出て大変でしたけど。やっぱり朝から暑さが続いていきますから、熱中症には充分注意しないといけないですね。特にスポーツをやる人たちにとっては、注意をするっていうのは大事だと思いますね。

（いいだ）

はい。今日も素敵なゲストをお招きしておりますまずご紹介させていただきます。豊橋自転車競技協会からお二人の方にお越しいただきました、豊橋自転車競技協会の会長でいらっしゃいます西郷敦司さんと理事を務めていらっしゃる高橋正子さんです。よろしくお願いします。

（西郷、高橋）

よろしくお願いします。

（いいだ）

自転車協会の理事さんということで、もっとたくましい方かと思ってました。

（金田）

豊橋には競輪場があって、競輪選手をよく見かけるとはいますが、競輪の選手となるとものすごい筋肉隆々の選手が多いですね。

（いいだ）

ウエスト位の太ももがあるような方がすごくいらっしゃるって印象がありますね。

（金田）

自転車も競技というのと、楽しむというサイクリングとかも一つの楽しみ方ですのでいいんじゃないかなと思います。

（いいだ）

お二人は、そういう方面から自転車を楽しんでらっしゃるって感じなんですか。

（西郷）

そうですね。あまり本格的な自転車競技まで関わったことはないですけども、まあ、初級のレベルで今まで関わって、今は役員という形ですね。

（いいだ）

でも、自転車にはずーっと乗ってらっしゃいます？

（西郷）

乗っておりました。今はママチャリで。

（高橋）

私はずっとママチャリで、自転車競技をしたことはありません。

(いいだ)

自転車の魅力に魅せられたってことですか？

(高橋)

娘が桜丘高校の自転車競技部に入りまして、その時にお世話になった恩返しの一環で役員を 3 年やろうと思って、3 年間やったんですけどそのままずるずると続いています。

(いいだ)

すごーい。ちょっと違う方面から、自転車の魅力にはまってしまったっていう感じなんですね。

(高橋)

そうですね。だから自分はいあまり乗ったことないです。

(金田)

楽しみ方は色々あるということで、自転車の奥深さっていうか、幅の広さっていうのがあると思いますね。

(いいだ)

今日は自転車そして豊橋自転車競技協会のお話を伺っていきます。豊橋市にはもう皆さんご存知競輪場もあって、自転車競技の環境っていうのも、ほかの地域よりも整っているように思うんですけども、この自転車競技協会の歴史というのは、どんなくらいなんですか？

(西郷)

本協会ですけれども、アマチュア自転車競技の普及発展を図るということを目的

として、昭和23年4月に設立をされておりまして、今年で78年目を迎えております。当時、既に市の公会堂前をスタートして渥美半島一周のロードレース大会が開かれており、昭和24年7月には豊橋競輪場が開設されました。その後昭和25年と平成6年愛知国体がありまして、豊橋市が自転車競技の開催地になったというような歴史です。

(いいだ)

なるほどありがとうございます。本当に自転車競技も幅広いというお話ありましたけれども、今協会の会員さんはどのくらい見えるんですか？

(西郷)

今は36名おりまして男性が34人、女性が2人です

(いいだ)

内訳がイメージ通りと言えばイメージ通りだったんですけど。やっぱり女子はなかなか人口が増えないですかね。

(高橋)

そうですね。いらっしゃらないわけじゃないですけど、走る方が楽しいみたいです。

(いいだ)

実際に皆さんどういう競技をされているんですか？

(西郷)

会員はですね、自転車競技を实际やるよりも大会の企画運営を主にやっています。そういうことで36名。

(いいだ)

今はやっていないけども前はやっていたという方が、入られることが多かったりするんですか？

（西郷）

そうですね。自転車の経験者、元競輪選手、トライアスロンの経験者、様々いますけど、何もやってなかった方も見えます。

（いいだ）

そういうことですね。また高橋さんも娘さんっていうのがあるから、自転車に繋がってきているっていうのが、多いのかなって思いますけれど、年齢層としてはどんな感じなんですか？結構幅がありますか？

（西郷）

幅ありますね。20代から70代ぐらいまで。ちょっと上の方が多いですね。

（いいだ）

いろいろイベントの運営されたりっていうそういう役割を考えると、どうしてもそういう風になってきてしまうのかなとは思いますが、でも、逆に若い方がいらっしゃるっていうのがいいですね。健康志向もあって、環境問題っていうのも、色々と叫ばれているところで。自転車ブームっていうのはすごい今来てるのかなっていう感じがしますが、やっぱり自転車の人気って、高いですか？

（西郷）

本協会が実施しているロードレース大会にも大変多くの方の参加をいただいておりますし、全国各地の大会もすごく賑わってるっていう現状がありますね。週末なんかに、東三河地域でも、ロードバイクでツーリングをする方とかよく

お見えになられますね。

（いいだ）

いらっしゃいますよね。私の周りにも本当にロードレーサー多いんですよ。

自転車も趣味にされていて、結構お高い自転車を持ってらして。そこら辺はお財布と相談で、お金貯めて、収入があると部品を変えたりとかっていうのをされてるっていう話を聞くと、やっぱりすごいハマってるなっていう風に思ったりしますけれども。私 湖西に住んでいて、もともと三ヶ日出身でして、それこそサイクリングロードが昔から整備されていて、すごくこの浜名湖岸をみなさん走られたりっていうのをよく見かけているので、趣味としては本当に素敵だし、いい趣味だなって思うんですよ。7月27日の日曜日に豊橋競輪場で、市民スポーツ祭 2025と令和 7 年度豊橋自転車競技大会というのが行われるそうですけれどもどんな内容になってるんでしょうか？

（高橋）

はい、スポーツ協会主催の市民スポーツ祭は、市民誰もが参加できて、競輪場を走ることができる貴重なイベントです。小学生からシニアまで、年齢ごとに分かれて 400 メートルと 1 キロのタイムトライアルで争います。同じ日に開催される豊橋自転車競技大会については、ちょっとレース種目が多くなりまして、同じように自転車競技協会の主催になりますけど、年齢制限を設けて、豊橋市長杯はエリミネーションレースで争います。そして豊橋市議会議長杯、2 キロ速度競争、本当は 2 キロ速度競争という種目はないんですけど、走るのが大変なので半分にして、豊橋独自のレースになります。

（いいだ）

そうなんですね。ちょっとハードル下げてる感じですかね。

（高橋）

あの皆さん出やすいようになればですね。そしてスポーツ協会理事長杯、これは高校生まででスクラッチで各 1 位 から 3 位が表彰されます。いずれも締め切りが 7 月 11 日金曜日までとなっていますので。参加希望の方は、スポーツ協会のホームページか豊橋自転車競技協会のホームページを確認してもらって、応募をお願いします。現時点では、参加申し込みが 40 名ぐらいでした。締め切りはないですけど、断った事は 1 回もないです。まだ大丈夫です。マスターズの世界大会に出るような方もいれば、先週自転車を始めた方も見えます。おじいちゃんと孫が同じ家から出てくるとか、あの本当にアットホームないい大会ですので、是非いらしてください。

（いいだ）

はい、みなさん是非応募して、参加をしてみていただきたいと思います。その他にも自転車競技協会さんが定期的に企画運営をされている大会がいろいろあると聞いてるんですけども、その辺もご紹介いただいてもいいですか？

（高橋）

はい、9 月 21 日日曜日に開催予定しているのが。第 22 回豊橋万場クリテリウムロードレース大会です。この大会は自転車競技のロードレース人口の普及拡大と全国レベルの選手育成を目的に行うもので。愛知県体自転車競技大会の 10 周年を記念して、平成 16 年から始めました。独立行政法人水資源水資源機構の協力を得て万場調整池の周回コースで行います。なかなか走れないところなので、皆さん、奮るってご参加いただけるとありがたいです。種目と



しては、小学生の個人、ロードレースの初級上級と5時間のチームエンデューロというのは、時間を区切って、その中で、少しでもたくさん走った人が勝ちってというレースで、クリテリウムっていうのは、長いコースを走るんじゃなくて、運動場のトラックみたいに、何回も何回も周回しますっていうタイプのレースです。

10月5日日曜日には、東三河サイクルマラソンを予定しています。こちらは東三河を周遊するサイクリング大会で順位を争う大会ではなくて。それぞれのペースで走る大会です。桜淵公園をスタートして、新城市と東栄町の周遊コース約110キロを走って行きます。数か所のエイドステーションを休憩しながら走っていただきます。定員は200名を予定しています。順位を争う大会ではないと申し上げましたが、四谷千枚田が坂道になっているので、そこではヒルクライムのタイムチャレンジも行います。奥三河の景色を楽しみながら走ることができますので。是非ご参加ください。前に参加したときは、ちょうど稲刈りで穂が<sup>は</sup>さ<sup>き</sup>稲架がけしてあったんですけど、一週間前は黄金色になってたそうで、ちょっと残念だったときなんです。今年どうなるかはわかりません。とってもきれいだったっていう話です。

(いいだ)

はい、皆さん四谷千枚田は景色の良いところなので、見に行く人も多いですね。是非期待したいなと距離も長いっていうのがね。びっくりなんですけれども、その他にも大会あるようですね。

(高橋)

はい、豊橋競輪場で、ピスト競技といってブレーキのない自転車による競技です。皆さん乗っているのはブレーキある自転車だと思うんですけど、ブレーキがなくて、そういった自転車を使用して大会をします。第40回豊橋チームピストを11月の上旬に開催する予定です。こちらは高校とか大学などの自転車競技部を除く街のレーシングチームにより、チームスプリントや短距離、中距離の個人選択種目、競輪かエリミネーションを行います。

(いいだ)

うん。これは競輪場のバンクを走るってことですよね。なかなかそれ出来ないってことですよね。

(西郷)

高校、大学の自転車競技部選手が走ると、実力が上なので、昔乗ってたような方がまた改めて絶好の走る機会だになってというような中で、参加していただこうっていうのがこの大会です。

(いいだ)

そうなんだ。ちょっと足に覚えがある方は皆さんね、是非ご参加いただきたいと思います。いやでも本当にいろんな大会を運営されているということで。アマチュアの自転車競技の発展を目指すっていうことが、目的っていうのも、あると思うんですけど、豊橋自転車競技協会さんの今後の目標というか行くべき道っていうのは、どんな感じなんですか？

(西郷)

何にしてもですね。先輩方が歴史と伝統のある大会をずっと継続されてきていますので、今後、より充実するような形をいろんなアイディアをだしながら考

えていきたいなと思っています。それから最も大切なのは、新しい何か大会を企画するというようなこともこの協会の使命なのかなという風には考えています。

(いいだ)

そうですね。大きい小さいに関わらず、自転車に関わるイベントがいろんなところで行われるっていうのがまちの活性化にもなるだろうし、シニアの皆さんだとかと若いこれから自転車を始めようっていう方の交流の場にもなったりするのかなと思うので、いろんな種類のいろんな大会を運営していただきたいですね。

(西郷)

そうですね。あのチームの大会とかになりますと県内だけではなくて、県外からもいろいろ参加されるわけで、その中で、いろいろチーム間の親睦を図ったりとか、いろんなことが期待できますね。

(いいだ)

ということは、やっぱり皆さんもどんどん協会員になっていただいて、運営の方に参加していただくっていうのが必要になってきてる。

(西郷)

その通りですね。ぜひですね。特に若い方に会員になっていただきたいなと。

(いいだ)

先ほど自転車の経験がなくても協会員の方がいるという話がありましたけども、特に何か条件みたいなのはないんですか。入会の。

(西郷)

あの特別条件はないですけども、ただ、本格的に役員をやるとなると日本自転車競技連盟が公認するような審判員の資格を取得してもらうとか、そういうのは出てきますね。

（いいだ）

とりあえず、イベントに興味関心がある方は、競技協会の方に問い合わせさせていただいて、どうしたら入れますかっていうことで。

（西郷）

そうですね。顔を出していただいて、そこで意思表示をいただければ、運営している大会なんかにも参加していただいてっていうのがいいかもしれませんね。

（いいだ）

ありがとうございます。最後になりましたけれども、改めて、自転車の魅力についてお二人からラジオを通して。メッセージいただけますでしょうか。

（西郷）

自転車はいつでも気軽に楽しめるっていうのが一番ですね。あの近くを軽く散策するとか、時間かけても、自分なりの速度で楽しめます。あとは、ウェアもいろんなデザインだとかありますので、ファッションを楽しむとか、それも案外ですね、そういう形で楽しんで自転車乗ってる方多いですね。タイムを競ったり、自分の限界で挑戦するぞみたいな、練習をすればそれほどうるだけ成果として出てきますので、何にしても楽しんで乗ってもらえるといいと思います。

（高橋）

家の娘は風になれるような気がすると言っていました。風をきって走るっていう

のが、爽快なんだろうと思います。皆さんすごいスピードで走られるので。お年寄りでも、お子さんでも、年齢関係なく、楽しめますし、膝には負担がかかりませんので、生涯スポーツとしてはお勧めです。お年寄りになっても、膝が痛くても乗れます。腰が痛くても、このポジションなら乗れるとかいうところがあるそうなので、生涯スポーツとしてはとてもお勧めです。いい風になりになります。

（いいだ）

ありがとうございます。それでは最後に金田さんに締めて頂きたいんですが。あの岩田の夜店の話だいぶ話題になってますね。

（金田）

私たちも大変うれしく思ってます。岩田夜店は略称でして、実は岩田運動公園夜店っていうのが、正式名称なんです。これからもPRしていかないとはいけないんですが、略して岩田夜店という形でご紹介をさせていただきたいと思えます。もう週末ごと、第一週 7 月 5 日の土曜日から27日の日曜日まで、毎週土日延べ 8 日間ですけれども、午後 4 時から 9 時まで岩田運動公園内の電停前広場にいろんなキッチンカーや屋台が出店をして昔の縁日のようなそんな雰囲気で行います。今日も工事してるんですが、提灯の飾り付けを今日もやってるんですけれども、雰囲気を出して盛りあげようということで、準備をしてるところです。ただ、駐車場がありませんので、夜店に来られる方は徒歩、自転車あるいは公共交通機関を使って来ていただきたいなと思えます。夜の開催ということもあって、お酒を出していただけるお店もあります。

（いいだ）

一杯飲みながらお子さん連れてってという形で来てほしいなと思いますね。

（金田）

私たちとしては、岩田運動公園というものを、市民の方によく知ってもらいた  
いので、どういった公園なのか、またその中の運動施設がどういうものがある  
のかとか、どういう趣味の人が、ここで来て、楽しんでいるのかっていうこと  
分かってほしいなというように思っています。そこで、26日の土曜日につい  
ては、大会などしか入ってもらうことが難しい市民球場のスタンドを開放して  
スタンドで食べてもらったりとかも考えてます。26日の土曜日限定っていう  
ことで考えてます。

（いいだ）

豊橋っ子は6月の夜店を毎年楽しみにしていますのでね・・・。

（金田）

豊橋公園ではなかなか難しい状況が続いてますが、勿論その代わりというわけ  
ではなくて、あくまで我々が運動公園を管理してるという立場から市民の皆さ  
んに楽しんでもらえるような機会を作りましょうと。我々も岩田運動公園を  
PR したいというのもありますので、今回企画をしました。豊橋公園を今まで  
やってるようなことをイメージして来られると、あれだけの店は出ませんので、  
店舗は少ないと時には8店舗ぐらい、多い時は26店舗で、今のところ調整  
してます。

（いいだ）

岩田夜店のチラシを見ていただくとわかるんですけども、お互い無理のない  
ところでっていうのが、大事なのかなって、少ない日は少なくとも、その中で

楽しもうってみたいなのがあるといいのかなって思います。

(金田)

我々としても、かなり大規模になったというか、予想外になりました。また、スポーツ協会ではスポーツ教室、スポーツ祭をやってますので、ぜひ参加の方をお願いしたいと思います。中でご紹介あったように、自転車協会の市民スポーツ祭も 7 月の 27 日豊橋競輪場で開催しますので、7 月 11 日が申し込みの締め切りになってますので、是非参加していただけたらなと。お二人も頑張っ  
て運営してもらえと思っています。初心者の方でもっていうのがすごく、皆さん気軽に安心して参加できるのかなって、協会の仕事をやろうと思うとやっぱりその競技を小さいうちからやってるとか、学生のうちからやってるとかっていうこと人が多いんじゃないかと。精通してる人じゃないとなかなか協会の仕事まで行けないんだらうなっていうのは正直あると思うんですね。しかし今の話聞いてて、そうでない方でも参加していろんな企画運営であれば、協会のお仕事を出来るんだなというのを聞いて改めて思いました。

(いいだ)

だからこそ楽しい企画がいっぱい生まれてるんだらうなと思って思いますけれども、今後も協会の会員さんもどんどん増えて楽しいイベントが出来るのを願っております。そういうわけで、今日のゲストは豊橋自転車競技協会から会長の西郷さん、そして、理事の高橋さんと豊橋市スポーツ協会から金田さんにお越しいただきお話を伺いました。ありがとうございました。

(西郷、高橋、金田)

ありがとうございました。